

# おうちで博物館めぐりえ かいせつ

## 【004天神島マスコット】

**解説:** 図案の2つのマスコットは、博物館附属の天神島臨海自然教育園のマスコットです。右の大きいほうが「てんのすけ」、左の小さいほうが「かさじろう」といいます。2016年の特別展示「天神島大冒険！」で誕生しました。

「てんのすけ」は天神島をモデルにしています。天神島は、横須賀市の佐島にある小さな島で、その大部分をしめている教育園では、海や浜辺にくらす生き物や

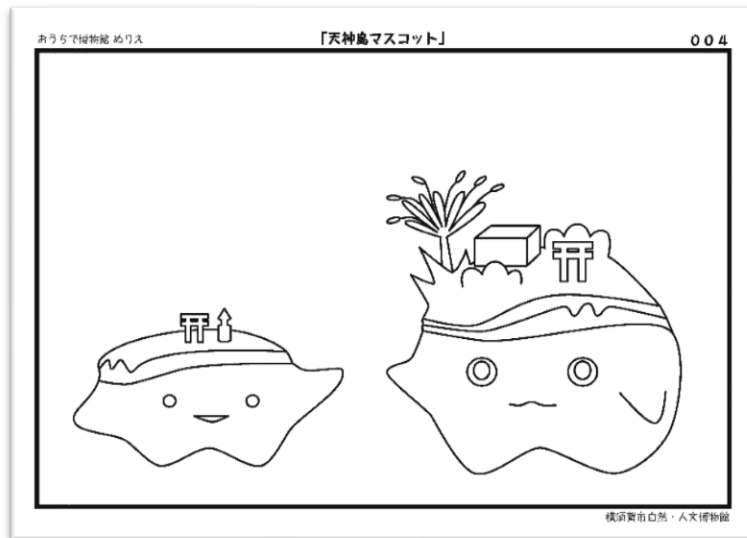
地層などを観察することができるほか、ビジターセンターの建物では海や浜辺の自然や漁で使われる道具などが展示され、自然と人の暮らしについて学ぶことができます。「てんのすけ」には、教育園の自然を代表するハマオモトやビジターセンターのほか、天神様がまつられた神社の鳥居などが書きこまれています。

「かさじろう」は天神島のすぐちかくにある笠島をモデルにしています。この島は天神島とともに博物館が管理をしています。むかしから漁師さんが使っていたため、小さな鳥居と祠があります。人の上陸ができないため、鳥たちが羽をやすめたり巣をつくったりする場所にもなっていて、天神島から観察することができます。

**展示:** 天神島臨海自然教育園へいくほか、博物館では天神島の自然をモデルにした自然館2階ジオラマ「海の様子」も展示しています。博物館で販売している「天神島冒険図鑑」もぜひ参考にしてください。

**対象:** 未就学児～小学校低学年（1～3年生）向け。

**コツ:** マスコットの体は海をあらわしています。わたしたちの身近な海はどんな色をしているかな。海や浜辺の生き物や、漁師さんの船、空をとぶ鳥、とおいに見える富士山など、天神島ではいろいろなものを見ることができます。



めぐりえ図案「天神島マスコット」（実際はA4判）



天神島冒険図鑑

